

# 1. 美咲町水道ビジョンの策定

## 1-1. 水道ビジョン策定の目的

上水道は、日常生活や社会活動に欠かすことのできないライフラインであり、水道普及率は、全国平均で98.1%、岡山県平均で99.1%（2019年度末）の高水準に達し、未普及区域では飲用井戸を使用されているところもあることから、普及率の上昇は横ばい状態になっているものと思われます。

水道事業を取り巻く環境は、規模の大小を問わず、人口減少社会の到来により一段と厳しいものとなってきており、給水人口の減少に伴う料金収入の減少や、水道施設の老朽化に伴う更新需要の増大、水道事業に携わる職員数の減少、及び頻発する地震や豪雨等自然災害に備えた危機管理対策の充実など、事業を安定的に運営していく上で多くの課題を抱えています。

そのような状況を踏まえ、厚生労働省においては2004年6月に「水道ビジョン」を策定し、2008年にその時点に見合った内容への改定を行い、今後の水道に関する様々な課題に対処するための具体的な施策及び工程等を提示していましたが、水道を取り巻く環境が大きく変化したことから、2013年3月に「新水道ビジョン」を策定し、取組の目指すべき方向性として、「**持続**」「**強靱**」「**安全**」といったキーワードを掲げ、事業の将来を見据え理想像を明示するとともに、それを具現化するために取り組むべき事項及び方策を提示しました。



図1-1. 新水道ビジョンの基本理念と水道の理想像（厚生労働省HPより）

美咲町では、水道事業の抱える問題解決に向けて、2009年3月に「美咲町水道ビジョン」（以下「旧ビジョン」と称す）を策定し、安心して安全な水道水を安定供給し続けることを目標に、事業運営を行ってきましたが、策定から10年以上が経過し、想定以上の人口減少の進行等、町を取り巻く情勢の変化に対応するため、新たに「**美咲町水道ビジョン**」を策定し、中長期的な水道事業の具体的な運営指標を示すことで、健全な事業運営を目指します。

### 1-2. 水道ビジョンの位置づけ

美咲町水道ビジョンは、旧ビジョンから実施してきた施策を点検及び継承し、町の最上位計画である「美咲町第三次振興計画」及び町の定めた各種計画等との整合を図るとともに、新水道ビジョンの概念と近隣自治体を含めた岡山県の水道事業との擦り合わせを踏まえつつ、今後の水道事業の計画策定時の礎となるものとして作成しています。

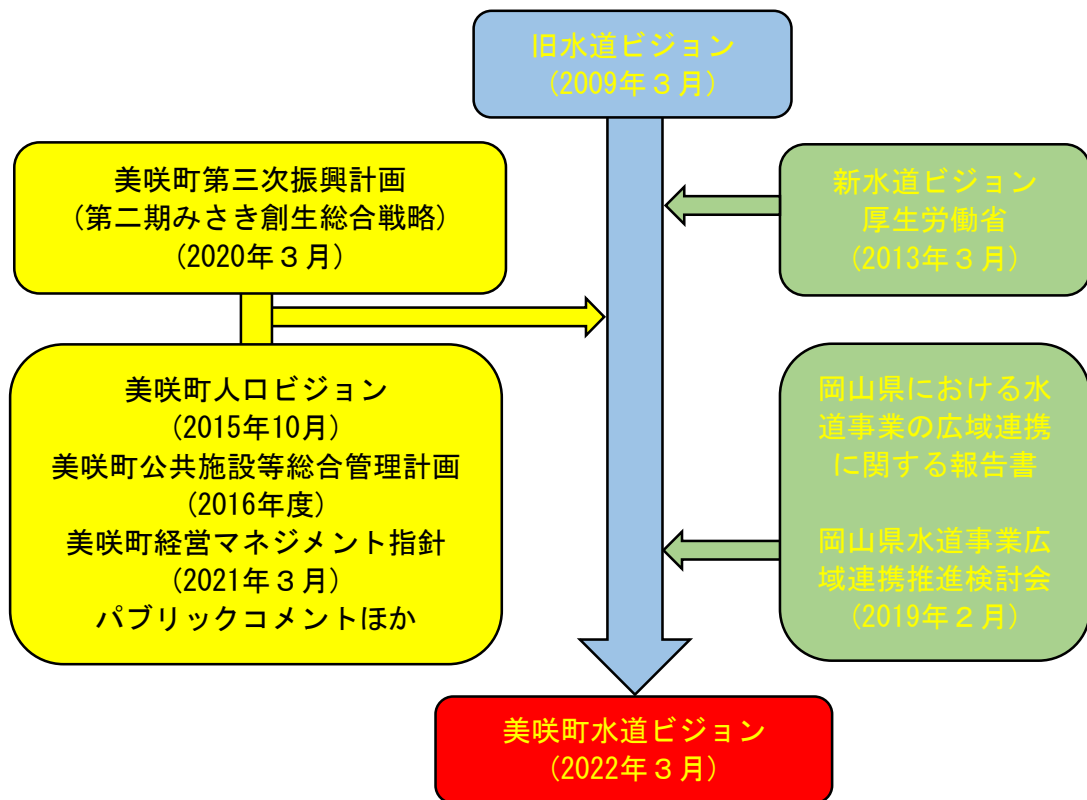


図1-2. 美咲町水道ビジョンの位置づけ

### 1-3. 計画期間

2021年度から2030年度までの10年間を計画期間とし、適宜見直しや軌道修正を行い、持続可能な水道事業の基盤強化を図ります。

